

マテリアリティ別の部会活動 CSR調達



資源持続
・調達部会

2030年までにめざす姿

サプライヤーと協働により、“環境”と“人権”の両面で、持続可能性が確認されていることを目指します。

3つのチェック体制

	対象サプライヤー	内 容
ニッスイCSR購買 取り組み セルフチェックシート	取引金額が多い、依存度が高い、環境・人権リスクが高いなど、ニッスイグループにとって関係性の高いサプライヤー。 毎年数十社を選定して説明会を開催後にチェックシートの回答をお願いする。	「遵法・調達倫理」「環境配慮」「人権配慮」「品質・安全の確保」「情報セキュリティ」「社会貢献」の項目からなり、全135問。 特に環境と人権に重きを置いた質問内容。
簡易チェックシート	既に取引をしているサプライヤー。	特に重要視する「人権」のみ9つの確認事項。 ニッスイ社員による現地・現物確認。
新規サプライヤー向け CSR購買 チェックシート	新しく取引を開始するサプライヤー。	CSRの基本的な内容で17項目。ニッスイのCSR調達の考え方と目指すべき姿に同意し、協働いただける意思確認。

フィードバックシート事例

株式会社〇〇△ 御中

2018年10月30日
日本水産株式会社
CSR部

2018年度 CSR調達サブライヤーセルフチェック フィードバックのご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
先日は弊社グループCSR調達説明会にご参加いただきありがとうございました。
また、CSR調達セルフチェックシートへご回答頂きまして、心より感謝申し上げます。
2018年度は弊社にとって重要なサプライヤーとなる国内外32社にご協力をいただき、各社CSR調達の現状を確認させていただきました。
以下、各社チェックシートのご回答内容を項目別に、国内各社の平均得点率と御社の得点率をレーダーチャートで表し、コメントを記載いたしました。
今後も、ニッスイグループのCSR調達実現の為に力添えを頂きたく、また御社の取り組みにも一緒に協働させて頂きたく、引き続きよろしくお願い申し上げます。

項目別得点率

CSR調達で重要な「人権配慮」に関わる法規制や社会規範はある程度認識されているようなので、今後は更に情報収集を進め、仕組み作りや社員教育の向上を期待します。
CSR調達で重要な「環境配慮」に関わる法規制や社会規範はある程度認識されているようなので、今後は、特に持続可能性に配慮した調達を進めていただくことを期待します。

以 上



CSR調達説明会実施の様子



2019年度から活動開始

現在は、ニッセイグループ内の現状把握に取り組んでおり、ポリシー、めざすべき姿の検討を始めている

[推進体制]

CSR委員会

海洋環境・プラスチック部会

海洋環境ワーキンググループ

海洋環境におけるプラスチックの
ゼロエミッションを推進。

- 漁業、養殖事業での使用プラスチックの管理実態把握と改善、コミットメント
- マイクロプラスチックの流出実態調査と抑制活動の推進
- 陸域での清掃および海洋漂着物などの回収活動の推進

プラスチックワーキンググループ

プラスチック資源の3R+Rを推進。

- 工場、家庭(使い捨て容器包装)、物流の各段階でのプラスチックの削減とリサイクル推進
 - プラスチックポリシーの検討
 - 外部団体(CLOMA*)への参画、協働、情報収集
- *CLOMA: Japan Clean Ocean Material Alliance 海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、経済産業省主導で設立された官民連携団体

マテリアリティ別のその他活動 社員と共に取り組む活動



14 海の豊かさを守ろう 17 パートナシップで目標を達成しよう	活動名称	テーマ	実施場所	実施日	対象者
海を守る	荒川環境学習		河川生態系保全 マイクロ・プラスチック	東京 荒川 4/22・23 5/20	新入社員研修 CSR推進委員
海を守る	ニッセイグループ グリーンアップ作戦		海洋環境保全 海ごみゼロウィーク	全国 5~6月	ニッセイグループ 従業員
海を守る	藤前干潟 生き物と触れあう活動		海洋環境保全 生物多様性保全	名古屋 6/2	従業員と家族 日本クッカーリー小牧 十味惣
海を守る	宇津貫緑地 里山保全活動		里山保全	八王子 6/15	従業員と家族
海を守る	知行浜 海を作る活動		海洋環境保全 生態系保全	福岡 9/8	従業員と家族 博多まるきた水産 金子産業
海を守る	おさかなを育む 湧水と海を守る森 保全活動		森林および 海洋環境保全	鳥取 9/27・28	従業員 弓ヶ浜水産 共和水産 鳥取県
海を守る	須磨水族園 生き物と触れあう		海洋環境保全 生態系保全	兵庫 2019 年度内	従業員と家族

マテリアリティ別のその他活動 社員と共に取り組む活動



「森・川・海」保全活動の全体イメージ図

森と川と海はつながっている。
森は川をはぐくみ、豊かな川は海をはぐくむ。

社員とともに「森・川・海」を守る

マテリアリティの実現に向け、常に事業との関連性を考えつつ、身近なところで社員と共に活動できる内容を検討しています。

一人一人が気づき、意識することから活動は始まります。少しでも多くの社員が参加し、感じながら考える、そんな体感できる活動づくりをここがけます。

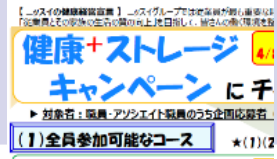
ニッスイグループの事業の根幹をなす海は、森から川、川から海までのつながりの中で、はぐくまれています。

このつながりを守る活動が「森・川・海」の保全活動です



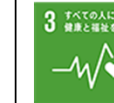
C S R 推進テーマに連動させた体感イベントを実施



活動名称			テーマ	実施場所	実施日	対象者
食品 ロス	ウオーク・ザ・ワールド		食を考える (飢餓)	横浜 大阪	5/12 5/26	従業員と家族
食品 ロス	缶切り部		家庭の 食品ロスを考える	東京 八戸	10/12 2/29	消費者 従業員
食品 ロス	宴会料理 食べきり企画		食品ロスを考える	全国	2019 未定	従業員
健康 経営	EPA/AA比 健康番付		健康経営	全国	番付 未	従業員
健康 経営	健康+ストレージ キャンペーン		健康経営 生活習慣改善	全国	4~7月	従業員
人材 育成	子ども参観日 社内見学と科学実験		職場を体験 海洋環境保全	本社	7/26	従業員 親子
人材 育成	出張授業		キャリア教育 働くとは？を伝える	都内 小中学校	7/13 8/29 10/10 11/19	小中学生

ニッスイグループ事業と関わるSDGsゴール・ターゲット



事業と関わるSDGsゴール												
マテリアリティ	取り組みテーマ											
豊かな海を守り、持続可能な水産資源の利用と調達を推進する	海洋環境	14.1	13.1	6.6		15.1						17.17
	海洋プラスチック	14.1		6.3	11.6		12.5					17.17
	水産資源の持続可能性	14.2 14.4		6.3							8.9	17.16 17.17
	生物多様性の保全	14.1	13.1									17.17
	CSR調達						12.2				8.7	
	環境マネジメント		13.2 13.3	6.3	11.6		12.5					
	環境負荷低減		13.2	6.3	11.6		12.5					
安全・安心で健康的な生活に貢献する	R&D							3.4 3.d	2.2			
	フードロス						12.3 12.8					17.17
社会課題に取り組む多様な人材が活躍できる企業を目指す	ダイバーシティ									5.1	8.2	
	働き方改革									5.b	8.2	
	女性活躍									5.1 5.5	8.2	
	シニア・障がい者・外国籍										8.8	
	人材育成・労働安全衛生										8.5	
	健康経営											
	ガバナンス									5.1		
	社会貢献活動	14.a							2.1			17.17